

川口市立医療センター広報紙

花水木

H a n a m i z u k i

特集 内視鏡支援ロボットによる大腸がん手術

2025
夏号
Vol.69



川口市立医療センター・
イメージキャラクター

みみたくね

“よく聴き・よく診て・
よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、安全で質の高い
医療を提供します



内視鏡手術支援ロボットによる大腸がん手術

消化器外科 柳 舜仁



当院では大腸がん、特に直腸がんにおいて、最新の内視鏡手術支援ロボットを活用した手術を導入しています。

内視鏡手術支援ロボットは、外科医が専用のコンソール（操作席）に入って操作を行い、ロボットアームを介して手術を行うシステムです。従来の腹腔鏡手術と比較して、以下の特徴があります。

- ・**多関節機能**：ロボットアームの先端が人間の手首のように自由に動くため、狭い骨盤内の深部でも精密な操作が可能です。
- ・**高解像度の3D視野**：立体的な高画質映像により、細部まで確認しながら手術を進めることができます。



多関節機能の付いたロボットアームで内視鏡手術を実施

剥離マージン(CRM)の重要性

直腸がん手術では、いかに病変部分と正常な組織との間取るべき適切なマージン(距離)をとってがん組織を切除できるかという剥離マージン(CRM)が、再発率に大きく影響します。CRMは、短過ぎると他の臓器への転移・再発の原因になると言われています。そのため、世界的には病理検査により計測することが重要視されています。日本では伝統的に計測しない施設も多かったのですが、当院では病理診断科生沼利倫先生および病理検査室スタッフの尽力でこれを計測し、世界的なデータと比較しても非常に良好な結果を示すことができます。



医師が3D視野で確認しながらロボットアームを操作

自律神経障害のリスクと対策

直腸がん手術では、排尿障害や性機能障害といった自律神経障害が問題となることがあります。これは、直腸周囲の神経が手術の影響を受けることで生じます。

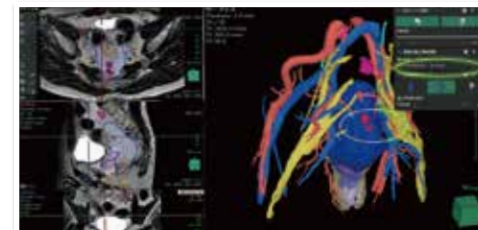
当院では、切離する自律神経を可能な限り最小限に留め、排尿機能・性機能の温存を目指しています。自律神経の温存と、がん組織からのCRMを両立するにあたり、内視鏡手術支援ロボットの多関節機能は非常に有用であり、術者が意図した通りの精密な手術操作を支援してくれます。

高度な画像診断と術前治療

当院では、通常5mm間隔で撮影される直腸MRI検査を1mm間隔で行い、診療放射線技師の支援の下に、AIエンジン搭載の画像シミュレーションソフトを用いて、患者さん一人ひとりの腫瘍の進展範囲や周囲の神経との境界を、精密に判定しています。これにより、最適な手術計画を立てることが可能です。

また、腫瘍を縮小させてからの手術が求められる場合には、術前放射線化学療法を実施しています。特に再発リスクの高い症例では、外科医、化学療法専門医、消化器内科医、放射線治療医、緩和ケア治療医、看護師、薬剤師、栄養士が集まるカンファレンスで議論し、術前化学療法と術前放射線化学療法を組み合わせた「Total neo adjuvant therapy(TNT)」という強

力な術前治療を選択的に行っています。これは、海外で標準治療となっている方法であり、当院では患者さんの背景や手術の質を考慮したうえで、適切な症例に導入しています。



AIエンジン搭載の画像シミュレーションソフトで作成した腫瘍の範囲画像

肛門温存と人工肛門の回避

内視鏡手術支援ロボットによる手術は、狭い骨盤内での精密な操作により、肛門温存の可能性が高まり、永久的な人工肛門を回避できることが多いというメリットがあります。また、従来の腹腔鏡手術や、肛門側から行う腹腔鏡手術(Ta-TME：経肛門的全直腸間膜切除術)など、他の手術法とも組み合わせ、患者さん一人ひとりに最適な治療方針と手術を提供しています。



肛門側からの腹腔鏡手術をロボット手術と併用している



「小児・AYA世代がん患者の終末医療に関する研修会」を開催しました



令和7年3月8日(土)当院で「小児・AYA世代がん患者の終末医療に関する研修会」を開催しました。AYA世代とは15歳～39歳の若い方を示す言葉で、学校や仕事、結婚、出産等ライフワークが大きく変化する世代です。この世代のがん治療では、疾患の治療に加えて、経済的なことや心理的なこと、家族や友人関係、将来のこと等、様々な不安や問題を抱えています。今回の研修では、行政職員やソーシャルワーカー、自宅での生活を支援してくれる医師や看護師、薬剤師を講師にお招きして、小児・AYA世代のがん患者の現状や経験談、課題を講義していただきました。

研修会には、当院職員のみならず、近隣医療機関や施設、訪問看護ステーションの医師や看護師、薬剤師等にもご参加いただき、講義聴講後に仮想患者の事例を用いてグループワークを行いました。若いため本人も家族もがんを心理的に



活発な意見の飛び交うディスカッション

受け入れられず、また介護保険も被保険者対象外等経済的な支援が乏しいという、たくさん課題のある中で、どうしたら患者さんが大切にしていることを守れるのか、どんな支援や医療者の介入が必要とされるのか、またどのくらいの費用が掛かるのか等ディスカッションしました。研修後のアンケートでは、参加したすべての方が「よかった」と評価しており、看護師からは「社会資源や多職種との連携について勉強になった」、薬剤師からは「自分にもできることがある、意識的に関わっていきたい」等多くの回答をいただきました。

この研修会を経て、多職種の方々と連携することで、患者さんやご家族の大きな支えとなれることを実感しました。患者さんやご家族に寄り添いながら、医療者もチームで支えられるよう、知識や技術を積極的に学び、共有し、自己研鑽に励んでいきます。



seek訪問看護ステーション堤先生の講義
『訪問看護の立場から』

【毎週木曜日】総合健診センターで一部健康診断の受診が可能になりました

総合健診センターでは、令和7年6月から毎週木曜日も川口市国保人間ドック・後期高齢者人間ドック健康診断を受診いただけるようになります。一人でも多くの市民の皆さまに、安全で快適な健康診断を提供できるよう努めて参りますので、下記までお気軽にお申し込み・お問合せください。



川口市立医療センター 総合健診センター
電話番号 048-280-1539(直通)

問い合わせ先

平日 午前9時～午後4時30分

第1・3・5土曜 午前9時～午後0時15分(第2・4土曜、日・祝・祭日はお問合せできません)

新院長就任あいさつ

令和7年4月1日付で院長に就任した立花栄三でございます。

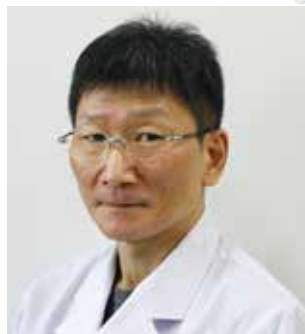
私は平成11年から平成15年の間当院に着任し、その後平成19年に再度着任し、平成20年からは循環器科・集中治療科部長として、医療の現場で従事して参りました。更に、平成29年からは副院長として、診療の現場と病院運営に携わって参りました。これからは院長として、当院の基本理念である「市民に信頼され、安全で質の高い医療を提供します」をモットーに、統括的立場から院務に取り組んで参ります。

さて、埼玉県南部保健医療圏(川口市・戸田市・蕨市)におきましては、少子高齢化が大きな懸念事項であり、将来的な医療需要のひっ迫は避けられない状況です。増加が予測される入院の必要な患者様に対して、病床を最大限活用し受け入れ強化を図ること、更に周辺医療機関との機能分化・連携強化し、地域包括ケアシステムを構築することが、地域医療への貢献に繋がると考えております。

また、働き甲斐のある魅力的な病院づくりに尽力することで、すべての職員のレベルアップを図り、地域の皆様へ還元できるよう努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年4月1日

院長 立花 栄三



地域連携推進懇話会を開催しました

令和7年2月26日(水)川口市市民ホール「フレンジア」にて、第21回地域連携推進懇話会を開催しました。

日頃お世話になっている地域医療機関の先生方をお招きし、第1部の講演会では整形外科石井部長と呼吸器内科羽田部長が講演を行いました。第2部の懇話会では30診療科の現在の取り組みについてポスターを掲示し、ご列席の先生方と情報交換を行いました。

地域の皆様に良質かつ適切な医療を提供するべく、本会でいただいたご意見等を踏まえて、今後もより一層緊密な医療連携を推進して参ります。



「メッセージボックス」～みなさまからのご意見箱～ お寄せいただいた感謝の声、ご意見等を抜粋して掲載いたします。



患者さんからのご要望

バス停の掛け時計が夜になると見えなくなる。外灯下もしくは光る時計にしてほしい。

(病院の回答)

メッセージボックスにご投稿いただきありがとうございます。ご指摘された場所を確認し、時計周辺の明るさを確保できるように照明を増設いたしました。ご不便な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。

患者さんからのご要望

生姜ご飯美味しかったです。レシピを教えてください。

(病院の回答)

貴重なご意見をありがとうございます。
生姜ご飯は2月3日の節分イベント献立で提供したメニューです。

《生姜の炊き込みご飯》ご家庭で1合分の分量

米(1合)	150 g
※水加減は炊飯器1合の目盛りで◎	
白だしつゆ	5 g (大さじ1/2)
根生姜	12 g
油揚げ	12 g (1/2枚)

※お好みで顆粒だしを、ひとつまみ加えても美味しいです！

今回のメニューは炊き込みご飯の名称ですが、生姜の香りを効かせるため、白だして炊いたご飯に薄味で煮た油揚げと針生姜を混ぜ込んで提供しています。

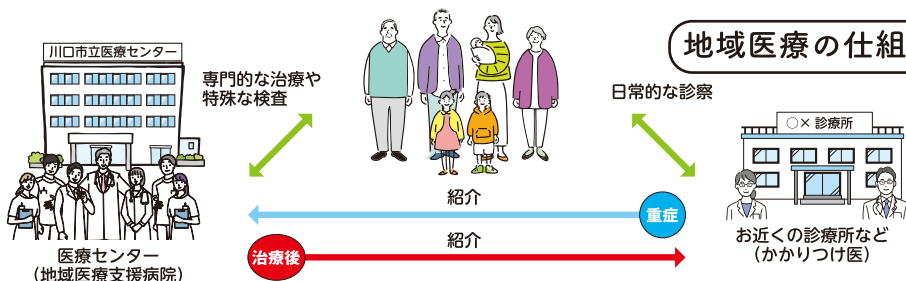
患者さんからの感謝の声

約1か月の入院になりましたが、大変お世話になりました。医療センターの皆様には温かく丁寧な対応をしていただき、精神的安定も図れ、焦ることなく退院まで過ごすことができました。お忙しい日々が続くかと思いますが、皆様どうぞご自愛ください。ありがとうございます。

(病院からの回答)

メッセージカードに投稿いただきありがとうございます。また、心温まるメッセージをいただき、重ねて御礼申し上げます。これからも患者様が安心してご受診ができますように、わかりやすい説明など、努めてまいります。

地域医療の仕組み



■バス案内 (国際興業バス)

川口駅東口(8番)発 蕨駅東口(1番)発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行 川口市立医療センター経由 新井宿駅行
西川口駅東口(1番)発 赤羽駅東口(6番)発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行 新井宿駅経由 川口市立医療センター行

■循環バス (川口市コミュニティバス)

みんななかバス

■埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

■駐車場のご案内

駐車料金 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)
総合受付の[5]会計受付にてパーキングカードを販売しております。
(1,000円券・3,000円券)
駐車台数 約600台収容

発行責任者 川口市立医療センター 病院事業管理者
編集 広報委員会
〒333-0833 川口市西新井宿180 TEL 048-287-2525 (代表)

